はじめに

The future starts today, not tomorrow.

Pope John Paul Ⅱ

未来は今日始まる。明日始まるのではない。

ヨハネ・パウロ 2 世

　星の数ほどある塾・問題集・教材の中から，スタディサプリの講義を選んでくれてありがとうございます。
　「画面越しの講義」ということに多少の抵抗と不安があるかもしれません。
　無機質な淡々とした授業，わかりやすさを強調するあまり緩いテンポの授業，中学生を子供扱いしすぎるかのような綺麗すぎる板書・ゆっくりした話し方…
　もしかしたらそんな授業を想像するかもしれません。
　でもこの授業では，そういった従来の価値観をすべてリセットし，「本当の英語の考え方」と「リアルな授業」を追求しました。

新しい英語の世界を知ってください。

定期試験で高得点を連発する楽しさを体感してください。

そして憧れの高校に合格してください。

　勉強というのは，人が一気に成長できる素晴らしい機会です。
　英語の文法・数学の公式･理社の知識… 天才たちが努力して手に入れた「世の中の真実」を一気に学べるわけです。
　こんなチャンスは，一生の中に 2 度も 3 度もあるものじゃありません。
　高校の合格通知を手にするその日まで，ぜひ受験勉強に燃えてください。

関 正生（せきまさお）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予習〜授業〜復習について

予習

　予習は不要です。もし授業についていくのがつらい場合は，軽くテキストに目を通しておく，教科書・参考書で事前に学ぶのもいいでしょう。

授業（約 40 分）

●板書なんて写さなくていい

　授業の解説を聞いて「理解」することに全神経を注いでください。
　今までの授業のクセで「何でも写そうとする」必要はありません。

　ボクの授業は徹底的に「理解させる」「その場で覚えさせる」ことを目標にしていますので，理解できたことは書く必要はありませんし，念のためメモするにしても，今までとは比較にならないほどのスピードと鮮明度でメモできるはずです。

　本当に手を動かして書いたほうがいいことだけを書きます。
（ちゃんと授業で「これは書いて」「ここは書かずに聞いて」と指示いたします）

　今までの「板書を写す授業」から，「理解する授業」にシフトしてください。
　勉強の効率が格段に向上しますよ。

●ポイントごとに「1 分間復習」を

　チャプターが終わるたびに必ずその場で，そこまでの内容を 1 分間復習してください。
　集中した 1 分の復習が驚くほど理解・記憶を鮮明にします。
　この「1 分間復習」は，今まで 20 年間ボクの授業で毎回行っていることです。
　画面越しに強制はできませんが，ぜひやってみてください。頭の中が整理されるので，次のポイントに集中できるメリットもあるんです。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●リアル授業と同じように

携帯片手に授業を聞くことは絶対にないように。
みなさんは「勉強のプロ」であるべきです。
たとえば，プロの料理人がスマホを片手に料理作るでしょうか？
授業の間は真剣に聞いてください。メール等は厳禁です。ダラダラとするクセが脳について，将来集中力のない体質になってしまいます。真剣に。

復習（1 回目 30 分／ 2 回目 20 分／ 3 回目以降 15 分）／最低 5 回

●極論しちゃえば

一度やった問題がもう一度できれば OK なんです。
つまり，テキストの英文はすべて読めるようにする，知らない単語や文法があってはならないんです。といっても人間忘れるものです。だから何度も反復するようにしましょう。

●「理解」と「定着」は別モノ

復習を完璧にこなすことが成績アップの秘訣です。授業中にミスった問題は解説を聞くと「理解」はできます。でも「理解」と「定着」はまったくの別モノ。
「今日できなかったことが明日はできる」― これこそ「成績が上がる」ということなんです。もし本番の試験で知らないことが出てたらできなくてもいいんです。でも，授業でやった問題が出たら何が何でも，そりゃもう意地とプライドにかけて絶対に正解するようにしましょう。

●復習はとにかく「しつこく」やる

ミスしたら，その場で何も見ないでポイントを言ってみてください。今覚えた単語を言ってみてください。
… 意外とできないんです。それが普通です。だから何度も何度も「しつこく」復習してください。「勉強をやってるのに成績が上がらない」という人の原因はほとんどこれです。

●確認テスト

自分の好きなタイミングでチャレンジしてください。何度やっても OK です。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第１講　オリエンテーション　…… 002
第２講　「名詞」の考え方　…… 008
第３講　be動詞の過去形・過去進行形　…… 016
第４講　「未来」を表す表現　…… 024
第５講　助動詞（その１）　…… 030
第６講　助動詞（その２）　…… 036
第７講　助動詞（その３）　…… 044
第８講　There is 〜 構文　…… 052
第９講　接続詞（その１）　…… 058
第10講　接続詞（その２）　…… 066
第11講　接続詞（その３）　…… 072
第12講　前期確認テスト　…… 076
第13講　代名詞　…… 082
第14講　不定詞（その１）　…… 088
第15講　不定詞（その２）　…… 096
第16講　不定詞（その３）　…… 102
第17講　動名詞　…… 108
第18講　文型　…… 118
第19講　比較（その１）　…… 126
第20講　比較（その２）　…… 136
第21講　比較（その３）　…… 144
第22講　比較（その４）　…… 152
第23講　受動態　…… 160
第24講　後期確認テスト　…… 168
巻末付録　《《《　不規則変化動詞一覧表　》》》　…… 174

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講 • オリエンテーション

☞ **ポイント**

①「2 番目に出てきたら the を使う」は間違い！

② always の「位置」のカンタンな覚え方！

③勉強法（綺麗なノートが勉強を妨げる）

1　英語の新しい捉え方

●きちんと意味を考える

●文化背景を考える

2　丸暗記英語からの解放

“the” について

(-_-;)今までは…

最初に出てきた名詞には a をつけて，2 回目には the をつけます。
「地球（earth)」や「月（moon)」には the をつけるのが決まりです。

<(`^´)>英語の核心

the は【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●例文

① The sun rises in the east. 「太陽は東からのぼる」

② Open the door. 「ドアを開けなさい」

③ Mt. Fuji is the highest mountain in Japan. 「富士山は日本で一番高い山です」

④ She plays the piano very well. 「彼女は上手にピアノを弾きます」

3　授業方針

・先を見越した勉強

これからの世界に（大学入試・社会人になってから）必要な英語の考え方をお見せします。

・闇雲に難しくする手法はとらない

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 この講座について

(1) クラス設定

現状偏差値 65 前後→目標偏差値 70 へ

※基礎確認は各自・超発展は扱わない・公立トップ校を目標

(2) テキスト

「入試問題」を使用・大学入試の問題も

(3) 授業の注意点

①予習・復習

予習不要・復習完璧に

「頻度の副詞」はどこに置く?

頻度の副詞（パーセントは目安です）

100%	always	「いつも」
80%	usually	「たいてい」
60%	often	「しばしば」
50%	sometimes	「ときどき」
0%	not	「いっさい〜ない」

(-_-;)今までは…

頻度の副詞は，be動詞の後，助動詞の後，一般動詞の前に置きます。

<(`^´)>英語の核心

頻度の副詞は【　　　　　　　　　　】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②黒板とノートが勝負を分ける

(-_-;)今までは…

講師：綺麗な板書・日本語訳も書く 生徒：綺麗なノート作り・カラフルに仕上げる

<(`^´)>今日からは…

ボク：綺麗に書かない・日本語訳も書かない・しゃべるのが速い 君　：スピード上げる・テキストに書き込む・何度も書く・何でもかんでも和訳を書かない

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第1講 ● 確認テスト

【1】

(1)【状況：窓が複数ある部屋で】（どれでもいいから 1 つ）窓を開けて下さい。

Open（　　　）window.

1. a　　2. an　　3. the　　4. 無冠詞

(2)【状況：窓が 1 つしかない部屋で】窓を開けて下さい。

Open（　　　）window.

1. a　　2. an　　3. the　　4. 無冠詞

(3) 太陽は東から昇る。

（　　　）sun rises in（　　　）east.

1. the / a　　2. a / a　　3. the / the　　4. a / the

【2】次の文に(　　　)内の語を入れるとすると，どこが適切ですか。

(1) He $_1$ does $_2$ his $_3$ best.（always）

(2) She $_1$ is $_2$ busy $_3$ in $_4$ the $_5$ afternoon.（sometimes）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

確認テスト解答

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■第１講　解答

【1】（1）1　（2）3　（3）3

【2】（1）1 和訳：彼はいつも全力を尽くす。

（2）2 和訳：彼女は午後，ときどき忙しい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。